

1 宮津市の人口・世帯数(平成24年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

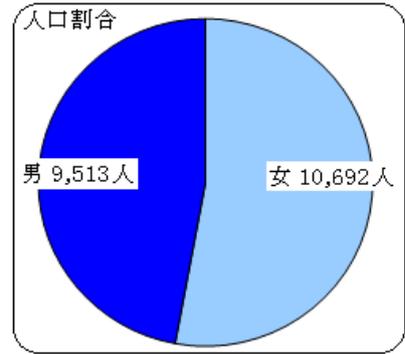
人口 20,205人(男:9,513人、女:10,692人)
(前年同月比 -322人)

世帯 8,822世帯
(前年同月比 +10世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

12月末の宮津の人口は、前年同月比-322人(-1.6%)、世帯数は対前年同月比+10世帯となっている。

※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職者数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成24年9月	206	252	94	0.84	0.82	0.84
(前年同月比)	-38	+42	-7	+0.17	+0.14	+0.14
平成24年10月	223	282	97	0.84	0.86	0.86
(前年同月比)	+26	+55	+7	+0.22	+0.14	+0.14
平成24年11月	167	243	80	0.89	0.88	0.87
(前年同月比)	-3	+59	+8	+0.22	+0.11	+0.11

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、前年同月比で10ヶ月連続の増加となり、全国では32ヶ月、京都府では31ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC・与謝天橋立IC交通量

	有料区間分(台)				無料区間分(台)	
	宮津天橋立IC		与謝天橋立IC		宮津→与謝	与謝→宮津
	入口	出口	入口	出口		
平成24年10月	34,412	33,765	47,280	46,938	27,945	30,612
(前年同月比)	-2,752	-1,112	+4,923	+3,320	+1,444	+919
平成24年11月	33,580	33,335	48,349	47,753	25,250	27,846
(前年同月比)	-3,438	-1,804	+5,502	+3,843	+112	-359
平成24年12月	26,787	27,771	40,461	42,184	24,514	27,325
(前年同月比)	-3,714	-2,755	+2,468	+1,166	+379	-67

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立ICの3ヶ月間(10月~12月)の交通量は対前年比で入口 -9.5%、出口 -5.6%の減少、与謝天橋立ICでは入口+10.5%、出口+6.5%の増加となっている。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市當天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成24年10月	1,094台(1台)	4,008台(208台)	11,179台(9台)	2,751台(893台)
(前年同月比)	-106台(-2台)	-588台(-452台)	+420台(-2台)	-261台(-231台)
平成24年11月	1,098台(2台)	3,804台(281台)	11,200台(24台)	3,246台(1,177台)
(前年同月比)	+524台(-2台)	-1,039台(-544台)	+1,020台(-53台)	-422台(-260台)
平成24年12月	119台(1台)	2,111台(138台)	11,832台(10台)	1,725台(568台)
(前年同月比)	-1台(+1台)	-2,415台(-377台)	+135台(+5台)	-312台(-115台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

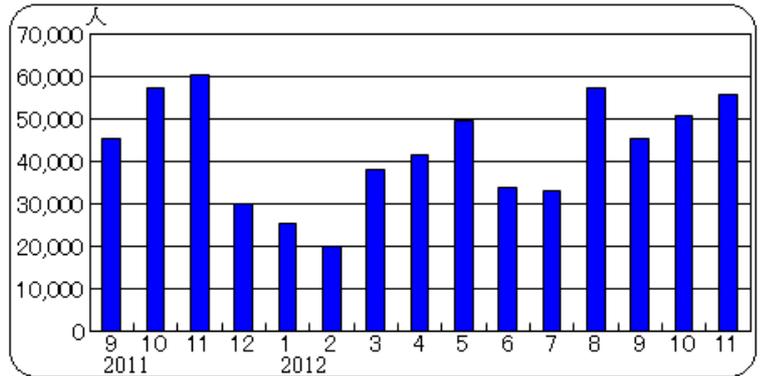
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については、全体で前年同月比 3,045台(5.3%)の減少、バスについては2,032台(38%)の減少だった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成24年9月	45,019人
(前年同月比)	-59人
平成24年10月	50,520人
(前年同月比)	-6,724人
平成24年11月	55,471人
(前年同月比)	-4,787人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

9月-0.1%、10月-11.7%、11月-7.9%の減少であった。

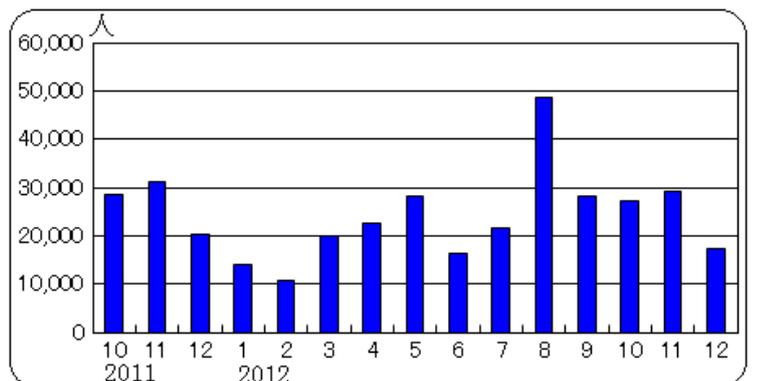


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成24年10月	27,135人
(前年同月比)	-1,528人
平成24年11月	29,172人
(前年同月比)	-2,024人
平成24年12月	17,257人
(前年同月比)	-3014人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

10月-5.3%、11月-6.5%、12月-14.9%の減少であった。



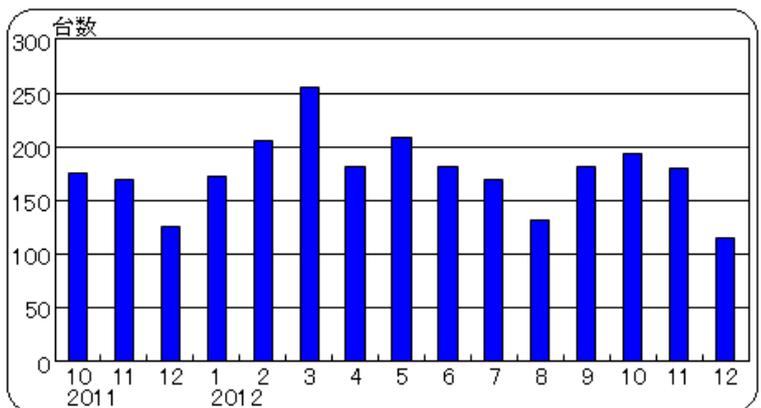
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成24年10月	194台 (前年同月比 +18台)
平成24年11月	180台 (前年同月比 +10台)
平成24年12月	115台 (前年同月比 -10台)

<資料:宮津警察署>

エコカー減税は9月で終了したものの、10月は10.2%、11月は5.9%の増加であった。



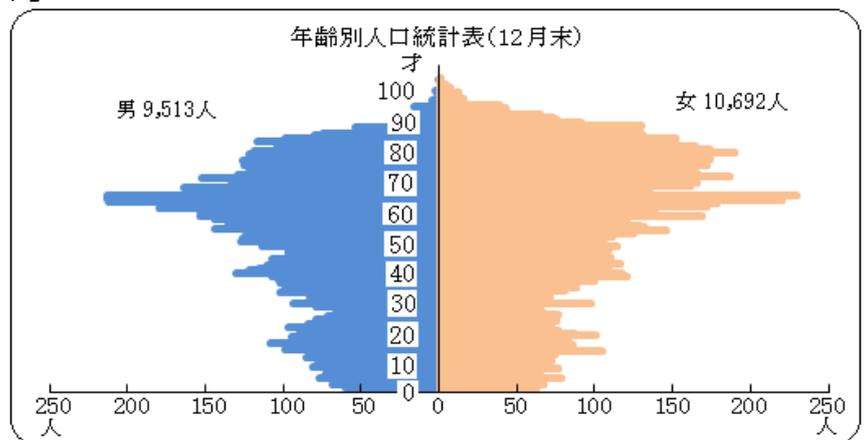
5 トピックス

宮津市の年齢別人口統計表(平成24年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人数の多い年齢(男女合計)			
	年齢	人数	割合
1	65歳	443人	2.19%
2	63歳	433人	2.14%
3	64歳	419人	2.07%
4	61歳	352人	1.74%
5	71歳	340人	1.68%

年代別人数及び割合(男女合計)		
100歳以上	28人	0.14%
90歳代	490人	2.43%
80歳代	2,217人	10.97%
70歳代	2,902人	14.36%
60歳代	3,390人	16.78%
50歳代	2,628人	13.01%
40歳代	2,094人	10.36%
30歳代	1,842人	9.12%
20歳代	1,540人	7.62%
10歳代	1,724人	8.53%
10歳まで	1,350人	6.68%



- ・高齢者(65歳以上) 7,193人 35.60%
- ・生産年齢層(19~64歳) 10,115人 50.06%
- ・高校生(16~18歳) 561人 2.78%
- ・中学生(13~15歳) 533人 2.64%
- ・小学生(7~12歳) 886人 4.39%
- ・未就学児童(0~6歳) 917人 4.54%

6 宮津景況調査アンケート(調査期間 平成24年10月～12月)

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、52社にアンケートをお願いした。(回答企業数 25社 48.1%)

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全	体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売	上	額	増加	3	5	14	3	減少
仕	入	単	価	低下	1	13	11	上昇
採		算	好	転	1	8	13	悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
				1	4	7	7	6
建	設	業		かなり	やや	不変	やや	かなり
売	上	額	増加	1	1		3	減少
仕	入	単	価	低下		4	1	上昇
採		算	好	転		3		悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
				1	1			3
小	売	業		かなり	やや	不変	やや	かなり
売	上	額	増加		1		6	減少
仕	入	単	価	低下		3	4	上昇
採		算	好	転	1		6	悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
					1	2	3	1
卸	売	業		かなり	やや	不変	やや	かなり
売	上	額	増加			1		減少
仕	入	単	価	低下		1		上昇
採		算	好	転		1		悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
						1		減少
製	造	業		かなり	やや	不変	やや	かなり
売	上	額	増加			2	2	減少
仕	入	単	価	低下		2	2	上昇
採		算	好	転		3	1	悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
					1	2	1	減少
サ	ー	ビ	ス	業		かなり	やや	かなり
売	上	額	増加		1	1	6	減少
仕	入	単	価	低下	1	3	4	上昇
採		算	好	転		1	6	悪化
今	後	の	売	上	見	込	増	加
					1	2	3	2

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・官民共に停滞。
- ・有資格者。
- ・運転資金が厳しい。
- ・低価格で受注するため、利益があまり出ない点。

◇小売業

- ・人材不足。
- ・高齢化による顧客の減少、売上の低下。
- ・入込客数の減少により、売上高の減少。年々ひどくなっているようにも思う。
- ・原料代高上の為、仕入単価の上昇がある。

◇製造業

- ・売上の停滞。
- ・新しい社員が続かず退職が続いて、既存社員の負担が大きい。
- ・人材不足、同業者間の競争(単価)、値崩れ、役所の入札制度(最安値落札)

◇サービス業

- ・施設の老朽化、単価ダウン、宿泊客の減員。
- ・コース崩落対応。
- ・荷主の海外進出による業務減少。
- ・人財の確保。
- ・運転資金繰り、仕事の確保。
- ・来店顧客の増加。

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

○現在取組んでいる改善策

◇建設業

- ・経費削減。
- ・得意分野の強化。
- ・低入による入札。
- ・既存の技術等を活用した新規事業の模索。

◇小売業

- ・経費節減。(4件)
- ・利益額の確保。
- ・得意分野の強化。(2件)
- ・電気代の節電の為の蓄電池タイプ業務用。

◇製造業

- ・経費節減。
- ・人材募集、経費節減、販路拡大、機械化。
- ・新製品の開発。
- ・ハローワーク以外での人材確保。

◇サービス業

- ・経費節減。(2件)
- ・対策工事(コース修復)の実施、来場者増強。
- ・人財育成。(社内研修、社外研修、社内勉強会)

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・先が見えない。
- ・一通りやったつもりで見当たらないが、再度チェックしたい。

◇小売業

- ・経費節減。(2件)
- ・作業効率の向上。
- ・天橋立らしい、天橋立しか買えない土産物の販売。
- ・得意分野の強化。
- ・小売価格の見直しを検討中。

◇製造業

- ・インターネットの求人サイトでの募集。後継者の育成。
- ・デザイン力強化。オンデマンドへの移行。ネット事業。

◇サービス業

- ・得意分野の強化。
- ・とりあえず営業をありとあらゆる所へかけて仕事を取るだけ。
- ・コミュニケーション能力の向上。コーチング。

問4 国・府・市・会議所への要望。

◇建設業

- ・公共事業の前倒しでの地方経済。
- ・消費税の税率を分けて欲しい。例:コメと野菜→5%、アワビやカニ→10%、牛肉→8%、軽自動車→5%、高級車→15%・・・など
- ・府へ 現在行われている支援策の継続と強化。市へ 除雪体制の強化。手配の重機が足りない。
- ・公共事業(土木工事)発注の増加を要望します。

◇小売業

- ・業種、商店街等の活力に支援、アドバイス。
- ・高速道の早期開通。
- ・KTRへの思い この秋、所用で関東地方へ出かけた時、往路はJRの特急車両、復路はKTRの特急車両に乗りした。乗り心地、快適性、スピード感ともにJRの特急電車が勝っている。宮津線の天橋立から宮津、そして宮福線の福知山までKTR唯一の電化区間である。にもかかわらず、この線に電車が走る事は数少ない。素人目で見ても勿体無い気がする。初期のKTR車両の老朽化が著しく、車両故障による遅延や運休がよく起きようになってきた。この際、電化区間はJRから車両と人員をリースして運行してもらい、荒川車両基地は廃止し、コスト削減に繋げる。JR西日本との提携強化で丹後への観光客の増加も見込まれるし、電車によるスピードアップと快適性は乗客にとっても魅力です。そして、特急丹後リレー号はすべて快速列車として運行し、特急との乗り継ぎ客の為の座席指定車両は残す。全国の三セク鉄道で赤字額最大の汚名回復の必要と共に、全国の鉄道網とつながっている地元KTRは、民間的な発想を取り入れ、地元住民の足として末永く存続させることを切に願います。

◇製造業

- ・印刷物の最低価格制度の確立。(入札制度の改善)

◇サービス業

- ・企業誘致。
- ・デフレの解消。